マネジメント評価

避難情報システム

プロジェクトマネジメント演習

2017年7月18日

矢吹研C班

メンバ

PM 1542098 　星ひかる

メンバ 1542044 近藤智之

1542071　　武田拓朗

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| PM | シニア | ユーザ |
|  |  |  |

1. QCDの定量評価および教訓
   1. 品質

表 1 品質チェックシート

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品質特性 | 品質副特性 | ヒアリングの要旨 | 評価 | 備考・顧客感想など |
| 機能性 | 合目的性 | 必要な機能はそろっているか |  |  |
| 正確性 | 施設までのルート間違い |  |  |
| 標準適合性 | デバイスでも使用できるか |  |  |
| 信頼性 | 成熟性 | 同一機能の不具合の減少 |  |  |
| 回復性 | トラブル時の対応のはやさ |  |  |
| 使用性 | 理解性 | 使い方が想像できたか |  |  |
| 習得性 | すぐ慣れたか |  |  |
| 運用性 |  |  |  |
| 魅力性 | システムのデザインなど |  |  |
| 効率性 | 時間効率性 | 動作の速さ |  |  |
| 資源効率性 | コスト超過や作業遅延はしなかったか |  |  |
| 保守性 | 解析性 | トラブル時の理由の理解 |  |  |
| 変更性 | システムの変更が正しいか |  |  |
| 安定性 | 安定しているイメージがあるか |  |  |
| 試験性 | 要望を試してみることができるか |  |  |

品質は下記のような品質チェックシートに基づき管理していく. この表の内容を三段階で評価していき、評価が２以上なら品質が高く保つことができたと考える。。。

品質は機能のみに注視しすぎて現状の把握が曖昧になってしまった。これは会議毎に行う、前回までの振り返りが不十分であったことが原因だと考えられる。そのため改善策としてはデイリースクラムを作業前にしっかりと確認することが挙げられる。

* 1. コスト

図 1　EVM

PV＝156

EV＝156

AC＝168

CPI = 0.928571428571429

SPI = 1

作った後の要求事項が大幅に変わることが多く、無駄が多く余分にコストが多くかかってしまった。改善案として初回にペーパープロトタイプなどを作り、イメージのすり合わせなどを行うことが挙げられる。それによって無駄な機能を作ることがなくなりコストが削減できたと考えられる。

* 1. 納期

納期に間に合わない機能が見られた。これは見積もりが甘かったことが原因である。改善策としてユーザに代替案を提示して、機能の変更と削除を行った。

1スプリント5/19

2スプリント6/6

3スプリント6/27

4スプリント7/18

1. チーム課題の実施結果と教訓
   1. アジャイル開発

ユーザの要望をこまめに聞き反映することができた。そのためユーザが思い描くシステムとの差が少なく,高い品質を保つことができた. しかし, 品質に目を向けすぎてしまい、現状把握が疎かになってしまい、コストが超過してしまった. 改善策としてユーザーストーリーと、その完了までに必要なタスクおよびタスクの見積りを洗い出すミーティングを開くことが挙げられる。

* 1. 外部APIを利用した実装

今回利用した外部APIは、Google Maps APIと,Twitter APIである。

* 1. デバイスを利用した実装

レスポンシブデザインに対応した。